

2025年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月14日

上場会社名 SFPホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3198 URL https://www.sfpdining.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 人事・総務本部長 (氏名) 中居 康幸 (TEL) 044(750)7154
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第3四半期の連結業績 (2024年3月1日~2024年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	22,310	4.7	1,364	4.9	1,537	5.9	1,035	22.2
2024年2月期第3四半期	21,310	31.9	1,300	—	1,452	16.1	847	10.5

(注) 包括利益 2025年2月期第3四半期 1,050百万円(26.8%) 2024年2月期第3四半期 827百万円(3.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第3四半期	45.41	—
2024年2月期第3四半期	34.00	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第3四半期	13,472	8,248	61.2
2024年2月期	13,303	7,744	58.2

(参考) 自己資本 2025年2月期第3四半期 8,248百万円 2024年2月期 7,744百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	11.00	—	12.00	23.00
2025年2月期	—	13.00	—	—	—
2025年2月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の連結業績予想 (2024年3月1日~2025年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	30,000	3.2	2,100	3.6	2,300	2.8	1,500	△13.4
								65.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期3Q	22,813,689株	2024年2月期	22,813,689株
② 期末自己株式数	2025年2月期3Q	13,285株	2024年2月期	25,385株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年2月期3Q	22,795,564株	2024年2月期3Q	24,915,598株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善、円安に伴うインバウンド需要の継続等により、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化に伴う資源価格高騰や中東などにおける地政学リスクの高まり等による経済活動への影響も大きく、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、訪日外国人客の増加等が寄与し、引き続き売上が昨年を上回って推移しておりますが、米をはじめとする原材料費の高騰などを受けて、依然として厳しい状況が続いております。当社が主に展開する居酒屋業態では、インバウンド需要の継続に加え、天候要因もあって集客が堅調に推移し、売上が昨年を上回って推移いたしました。

このような状況の中で当社グループは、引き続き固定費の増加抑制に努めるとともに、食材価格の高騰を踏まえたメニュー改定や臨機応変な営業時間の見直し、人材採用の積極化など、収益性の改善に向けた取り組みを推し進めてまいりました。また、出店戦略においては、小型かつ低投資の大衆酒場業態の開発・出店を継続するとともに、地方都市での出店にも注力しております。

鳥良事業部門においては、当第3四半期連結会計期間末現在の店舗数は35店舗となり、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,891百万円（前年同期比2.0%増）となりました。

磯丸事業部門においては、「磯丸水産」を2店舗出店した一方で、「磯丸水産」を1店舗退店いたしました。また、「磯丸水産」及び「磯丸水産食堂」をフランチャイズで各1店舗出店し、当第3四半期連結会計期間末現在の店舗数は直営100店舗、フランチャイズ18店舗となり、当第3四半期連結累計期間の売上高は13,524百万円（前年同期比4.8%増）となりました。

その他部門においては、「五の五」を1店舗出店したほか、「焼きとんぷく助」及び「浜焼ドラゴン」各1店舗を「五の五」へ、「ホームベース」1店舗を「鉄板ホルモン五の五」へ業態転換し、当第3四半期連結会計期間末現在の店舗数は31店舗となり、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,391百万円（前年同期比10.2%増）となりました。

フードアライアンスメンバー（連結子会社）においては、株式会社クルークダイニングが「梅と鶯」を1店舗退店し、当第3四半期連結会計期間末現在の店舗数は株式会社ジョー・スマイルが12店舗、株式会社クルークダイニングが12店舗となり、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,503百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の総店舗数は、直営190店舗、フランチャイズ18店舗となり、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は22,310百万円（前年同期比4.7%増）、営業利益は1,364百万円（前年同期比4.9%増）、経常利益は1,537百万円（前年同期比5.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,035百万円（前年同期比22.2%増）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ168百万円増加し、13,472百万円となりました。主な増減要因は以下のとおりです。

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ370百万円増加し、6,276百万円となりました。これは主に、現金及び預金が185百万円、売掛金が231百万円増加したことによるものです。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ201百万円減少し、7,195百万円となりました。これは主に、有形固定資産が138百万円、投資その他の資産が49百万円減少したことによるものです。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ366百万円減少し、4,041百万円となりました。これは主に、買掛金が115百万円増加した一方で、短期借入金が205百万円、未払法人税等が321百万円減少したことによるものです。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ31百万円増加し、1,182百万円となりました。これは主に、長期借入金が16百万円、退職給付に係る負債が11百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ504百万円増加し、8,248百万円となりました。これは主に、利益剰余金が465百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年4月12日に発表いたしました「2024年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載しております予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,518,538	4,704,263
売掛金	767,528	998,828
原材料及び貯蔵品	116,601	133,879
その他	504,055	439,959
流動資産合計	5,906,724	6,276,931
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,661,947	7,772,796
減価償却累計額	△4,535,119	△4,738,403
建物及び構築物（純額）	3,126,828	3,034,393
土地	11,570	11,570
建設仮勘定	2,986	20,866
その他	1,834,237	1,842,252
減価償却累計額	△1,453,670	△1,525,474
その他（純額）	380,567	316,777
有形固定資産合計	3,521,952	3,383,608
無形固定資産		
のれん	270,838	255,783
その他	10,079	11,259
無形固定資産合計	280,917	267,042
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,801,542	2,871,810
その他	792,341	673,067
投資その他の資産合計	3,593,883	3,544,877
固定資産合計	7,396,753	7,195,528
資産合計	13,303,477	13,472,460

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	766,665	882,596
短期借入金	905,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	128,640	98,308
未払法人税等	462,684	140,735
賞与引当金	176,294	110,960
株主優待引当金	115,563	71,495
店舗閉鎖損失引当金	19,218	4,172
資産除去債務	18,903	4,606
その他	1,814,943	2,028,292
流動負債合計	4,407,913	4,041,166
固定負債		
長期借入金	22,540	39,056
退職給付に係る負債	364,318	376,232
資産除去債務	682,971	686,396
その他	81,341	81,170
固定負債合計	1,151,172	1,182,855
負債合計	5,559,085	5,224,021
純資産の部		
株主資本		
資本金	49,340	49,340
資本剰余金	505,659	505,639
利益剰余金	7,259,351	7,724,623
自己株式	△50,177	△26,219
株主資本合計	7,764,173	8,253,384
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△19,781	△4,945
その他の包括利益累計額合計	△19,781	△4,945
純資産合計	7,744,392	8,248,438
負債純資産合計	13,303,477	13,472,460

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年3月1日 至2024年11月30日)
売上高	21,310,751	22,310,253
売上原価	6,181,100	6,525,266
売上総利益	15,129,650	15,784,986
販売費及び一般管理費	13,829,331	14,420,955
営業利益	1,300,319	1,364,030
営業外収益		
受取賃貸料	—	3,150
協賛金収入	168,930	145,732
助成金収入	※ 315	—
持分法による投資利益	2,374	3,213
その他	11,402	32,248
営業外収益合計	183,023	184,344
営業外費用		
支払利息	1,965	4,272
支払手数料	21,133	—
不動産賃貸原価	—	2,295
その他	7,575	4,094
営業外費用合計	30,674	10,661
経常利益	1,452,668	1,537,713
特別利益		
固定資産売却益	—	3,636
店舗閉鎖損失引当金戻入額	12,909	6,799
特別利益合計	12,909	10,436
特別損失		
固定資産除却損	31,627	2,607
減損損失	260,505	3,012
店舗閉鎖損失	4,400	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	11,562	4,172
特別損失合計	308,095	9,791
税金等調整前四半期純利益	1,157,482	1,538,357
法人税、住民税及び事業税	342,367	389,931
法人税等調整額	△32,117	113,180
法人税等合計	310,249	503,111
四半期純利益	847,232	1,035,246
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	109
親会社株主に帰属する四半期純利益	847,232	1,035,137

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
四半期純利益	847,232	1,035,246
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△19,280	14,835
その他の包括利益合計	△19,280	14,835
四半期包括利益	827,951	1,050,082
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	827,951	1,049,973
非支配株主に係る四半期包括利益	—	109

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 助成金収入の内容は、新型コロナウイルス感染症に係る雇用調整助成金等です。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、以下のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	452,388千円	441,017千円
のれんの償却額	37,842千円	15,055千円